

はっぽう

議会だより

八森子ども園 園児による梨狩り



9月
定例会

- 9月定例会ダイジェスト 2ページ
- 決算特別委員会 4ページ
- 町政を質す（一般質問要旨） 7ページ
- 一般質問 8ページ
- 総務民生常任委員会 15ページ
- 議会全員協議会 16ページ
- 四方八峰・編集後記 18ページ

四方八峰

（町を元気にする団体紹介シリーズ）No.10

まちおこしNPOオモシエナ

代表 板谷 大樹さん

2012年4月に発足した同団体は、地域が抱える課題や農村と都市との交流に関心を寄せ、課題解決の糸口を探っていた板谷さん達3人の若者により設立された。地域の資源や課題をソーシャルビジネスの芽として捉え、雇用を生み出すことができたという思いから活動が始まった。オモシエナという団体名は、秋田弁の“おもしろい”に“おもしろいをエナジーに変えよう”という意味を掛けて名付けられた。

3人が培ってきた人脈と経験を活かし、ユニークなイベントや企画を試みてきた。地元産あきたこまちの米粉を使った「あきたこまちだんご」の商品化、民家の庭先で放置されている柿の実を有効活用するために発案した「KAKINO MIプロジェクト」、有名講師を能代市「旧料亭金勇」に迎えて開催した講演とワークショップ「マチコラボ！～高校生が主役のまちづくり～」。2020年には、町が栽培を奨励している生菓の桔梗の根っこの規格外品を活用した《桔梗

と玄米のコーヒー》をプロデュースした。生菓のはじきを何とかできないかという町の担当課職員の声を受け、10数年前から繋がりがあった山形の玄米コーヒー生産団体の協力を得て、町内の農産物加工団体「ぬくもり工房」（阿部昌子代表）と共同で商品開発、販売へと展開していったのである。

「ここには何もない」というのは実際には何も見ていないから。地域の課題や良さを見つける機会を作り、話し合うことで新しい気付きが得られる。若者には先輩のアドバイスをよく聞き、やりたいことはどんどんやってほしい。高いアンテナを張って情報を得ること、地域の課題を見つけたらそれを行動に繋げるエネルギーに転換すること一板谷さんはそう語る。

現在二人で団体を運営しているがどちらも公私ともに多忙を極め、思いはあってもなかなか行動に移せないのが悩んだ。小さくとも志の高い「まちおこしNPOオモシエナ」は一緒に行動してくれる人を求めている。

（取材＝奈良）



テレビでもおなじみの若新氏と川村さん（左）、板谷さん（右）



マチコラボのワークショップ 県南から参加した高校生も！

編集後記

コロナにより「新しい生活様式」を実行し、コロナを避けるため「飲食を伴う懇親会等」、「大人数や長時間におよぶ飲食」、「マスクなしでの会話」、「狭い空間での共同生活」などはせず、「感染拡大防止に努めましょう」と啓発する立場かもしれないがその場の「雰囲気」、人と人の「機微」が、パソコンを挟んで感じられるわけもなくパソコン越しに飲み会などやろうとも思わない。居酒屋のざわめき。注文して出てくる料理の期待感。相手が何を言いたいのか表情や語気で察する緊張感がパソコン越しでは無理だろう。

まあ、でも受け入れるしかなく、新たな価値観として未来を前向きに捉えて行きたいと思う。

（記 山本 優人）

- 議会広報編集委員会
- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 皆川 鉄也 |
| 副委員長 | 笠原 吉範 |
| 委員 | 山本 良子 |
| 委員 | 山本 優人 |
| 委員 | 悦人 |

9月 定例会 ダイジェスト

9月定例会は9月6日(月)から17日(金)までの12日間の日程で開催し、条例制定や改正、一般会計及び特別会計の補正予算等、議案22件が上程されました。一般質問では、7人が登壇し、町政を質しました。



各座席に飛沫防止の亚克力板を設置した議場

補正予算

巡回バス試行運転等に伴う 補正予算を可決

(令和3年度一般会計補正予算(第3号))
補正予算の主な内容
○町巡回バス試行運転関連費156万4千100円
6月から試行運転している町巡回バスを、ルート再編、期間延長する。
○埴苗吉頭首工及び夏井沢川決壊箇所への豪雨災害復旧工事費236万4千900円。
○岩館体育館改修工事費積算業務委託費355万円。
岩館地区防災コミュニティセンター建設事業に関連した委託費。

(全員賛成で可決)

議会から町へ(質疑)

質問 民生費に追加補正されている特別養護老人ホーム等空間整備事業とはなにか。

答弁 「グループホーム水沢の里」で、終末期を迎えた方に対する看取り環境を整備するための施設改修。

質問 1月に延期となる成人式について、リモート開催の可能性は。

答弁 新成人と協議した結果、延期の上で式典を開催する予定。感染防止対策として抗原検査キットを町で購入し、当日の朝に検査してもらう。

その他特別会計等補正予算

○令和3年度八峰町介護保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)

質問 町巡回バスのルート再編の経緯は。
答弁 バス利用者へのアンケート結果に沿う形で再編。能代厚生医療センターに8時半前に到着するルートの構築を第一に考えた。
質問 岩館地区防災コミュニティセンターの建設予定場所の再確認。また、岩館生活改善センターは解体するのか。
答弁 旧岩館子ども園の跡地を中心に建設予定。岩館生活改善センターは解体して更地となる予定。



岩館生活改善センター(手前)と、岩館体育館(奥)

679万5千円を追加補正
主な歳出：過年度精算による国県への償還金や一般会計繰入金などの追加
○令和3年度八峰町沢目財産区特別会計補正予算(第1号)
45万6千円を追加補正
主な歳出：一般会計への繰入金追加
○令和3年度八峰町合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)
77万4千円を追加補正
主な歳出：一般会計への繰入金追加
○令和3年度八峰町下水道事業会計補正予算(第2号)
3600万円を追加補正
主な歳出：八森処理区マンホールポンプ設備更新工事に伴う追加補正

一般議案

ハタハタ館設備等の 改修工事請負契約を可決

(工事請負契約の締結について)
契約の内容
目的：ハタハタ館建設当時より使用している浄化槽及び冷暖房設備の改修
契約金額：7095万円
契約者：能代電設工業株式会社
(全員賛成で可決)

人事案件

八峰町沢目財産区管理委員の 選任に同意

提案理由
令和3年9月21日で任期満了になることから引き続き八峰町沢目財産区管理委員として選任するため。

(全員賛成で同意)

●小林信夫氏(沼田・再任)



賛否が分かれた議案の採決結果

○：賛成 ●：反対

賛否が分かれた議案を掲載しています。その他の議案はすべて全員賛成で可決・認定されました。

	水木壽保	山本優人	奈良聡子	腰山良悦	須藤正人	芹田正嗣	見上政子	菊地薫	笠原吉範	芦崎達美	皆川鉄也	門脇直樹	議決結果
八峰町個人情報保護条例等の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	議長は採決には加わりません	可決
令和2年度八峰町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○		認定
令和2年度八峰町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○		認定
令和2年度八峰町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○		認定
令和2年度八峰町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○		認定
令和2年度八峰町沢目財産区特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	認定	

令和2年度会計決算審査報告

令和2年度の一般会計、各特別会計及び公営企業会計の決算は、議長を除く11名による決算特別委員会を設置し、9月7日・8日・13日の3日間にわたって審査を行いました。採決の結果、すべての会計決算について原案認定されました。分科会では町政全体にわたり、議会から担当課へ多くの質問が出されましたので抜粋してお知らせします。

問 ふるさと八峰応援基金寄付金が伸びた理由は。

答 ふるさと納税のポータルサイトを2社から4社とすることで、より多くの方の目に留まるようにした効果と思われる。今後さらに3社を追加予定。

問 秋北バスの企業努力があれば、町巡回バスの必要はないのでは。また、巡回バスの能代直通ルートは出なかったのか。

答 秋北バスも乗車人数の減少により、現在の運行形態になっている。交通の充実のため、町による巡回バスの形になった。

公共交通会議では、能代直通も含めて協議した。今後も改善する必要があるものの総額は、

答 対象路線は34路線あり、総額2852万850円。

問 ハタハタ館の源泉の温度が高いため、加水のための水道料金が負担となっている。地下水を汲み上げ供給できないか。

答 水脈を探索し必要な水量を確保できるかなど検討する必要がある。

問 上下水道施設の統合計画はあるのか。

答 簡易水道は観海浄水場の配水区域を岩館地区まで広げ、岩館浄水場を廃止する方向で検討したい。下水道は検討中。

問 塩もろみの特許の期間は。

答 毎年更新。県との協議が必要だが、

と考えている。

問 岩館地区の地上デジタル放送の状況は。

答 映像が映らない時があるということ調査を行ったが、原因究明までには至っていない。糠森山で受信する電波が不安定な可能性もある。

問 湯つこうランドの管理費が年々増加している。今後の運営は。

答 決算審査でも指摘を受けている。経年劣化が著しいため、改修、閉館など、早めに関向性を決める必要がある。利用者の安全確保を徹底する。

問 コロナフクチン接種による副反応は。重篤となった事案はない。副反応を

業者による買い取りという方法もある。

問 アフビの放流の実績調査はしているか。

答 水揚げ数量で把握。年々増加している。

問 ハタハタ館への貸付金の返済計画は。5年償還。5年後から300万円を償還予定。

問 白神ツーリズムの活動は。

答 一般社団法人なので会社として活動している。コロナ禍により大きな活動はできていないが、情報の収集や提供を行っている。

問 ハタハタ館への管理委託料の算定方法は。

強く感じ、2回目の接種を見合わせた人が数名あり、かかりつけ医への相談を推奨し、対応している。

問 腕の痛み、発熱、倦怠感等の相談は複数あった。

問 国保税率の引き上げについて、議会定例会前に議員全員協議会で協議するべきではなかったか。

答 国保運営協議会の答申を受けて、議案を提出した。事前の協議・説明については、総務課等とも話し合って対応する。

問 旧沢子ども園の貸付状況は。

答 公募を行っているが、申し込みはない。保育施設のため改修が必要なことも要因と考えられる。

問 マイナンバーカ

ードの取得率は。令和3年9月時点で24%。

問 森林環境譲与税の今後の収入見込みは。

答 令和4～5年は1980万円、令和6年度以降は2373万円となる見込み。

問 生薬の販路拡大の計画は。

答 当面は龍角散を主な販売先として考えている。

問 生薬販売に取り組んでいる農家は。

答 カミツシは令和2年度は7戸、今年度は11戸。キキヨウは6戸となっている。

問 菌床しいたけの販売実績は。

答 新型コロナの影響により単価・販売実績は減少している。

たい。一から建設するのではなく、ハタハタ館、産直ぶりこ、体験センター等を活用し検討しなければならぬ。今後関係者による懇談会で協議する。

問 移転後の道の駅について。トイレへの導線の工夫や、駐車場とハタハタ館の高低差の対応は。

答 周辺施設にメリツトのある移転として、

問 教科書の選定方法は。

答 能代山本地区教科用図書地区採択協

が、例年、冬期間に需要が高まるため、徐々に回復するものと推測する。

問 令和2年度の新入消防団員5名というのは、例年に比べ多いのか。

答 例年同様であるが、退団者はそれ以上いるため、減少している。平均年齢も徐々に高くなってきている。(現在47.5歳)

問 林地台帳システムの進捗状況は。

答 データの取り込みが終わり、今後は所有者との現地立ち合いにより境界を確定させていく。

問 10～20aの小規模ではなく、地域の農家を巻き込んだ、一地域(大規模)の遊休農地解消を検討

議会を選定。

問 子ども園の給食賄い材料の業者選定方法は。

答 入札ではなく、八森・峰浜地区それぞれの業者に直接注文している。

問 給食センターと中学校の連絡通路修繕の内容は。

答 消防火に適切に対応するため、両施設の入入り口の切り離しを行った。

問 給食センターの食材納品実績に町内業者が少ない理由は。

答 入札で決定しているが、応札されないことも多い。年々児童生徒数も減り、参入する町内業者も減っていくと思われる。

問 除排雪業務最低保証制度について、最低保証(固定費)

問 町道の橋梁数と耐用年数は。

答 74橋あり、耐用年数は一般的に50年とされる。

してはどうか。

答 本年度までの活動は、遊休農地を作らないための啓発活動であった。今後の活動については、農業委員会総会等において協議・検討していきたい。

問 賃貸借契約を解除した場合、その農地はどのようなのか。

答 条件の良い農地は担い手が再契約をするが、条件の悪い農地は遊休農地化していく。解約の際に総会で担い手について話し合われる。

問 町道の橋梁数と耐用年数は。

答 74橋あり、耐用年数は一般的に50年とされる。

問 塩もろみの特許の期間は。

問 ハタハタ館への管理委託料の算定方法は。



ハタハタ館周辺への移転が計画されている道の駅

ここが聞きたい

ただ 町政を質す!!

7人の議員が一般質問

一般質問

一般質問では7名の議員が町政について質問しました。

p 8 笠原 吉範 議員

- 1 継業の促進について
- 2 体験センターの利活用について

p 10 山本 優人 議員

- 1 学校の部活動の体制見直しについて
- 2 行政手続きにおける押印廃止と書面主義の見直しについて

p 12 見上 政子 議員

- 1 町内循環バスの運行
- 2 町民税減免申請の簡素化
- 3 コロナ感染から妊婦と子どもを守る

※下線の質問については誌面の都合上掲載できなかったものです。

p 9 奈良 聡子 議員

- 1 タクシーに代わる移動手段について
- 2 洋上風力発電事業に関する住民への説明について

p 11 皆川 鉄也 議員

- 1 コロナ禍における町民の健康管理について
- 2 農業振興対策について

p 13 腰山 良悦 議員

- 1 墓地の管理義務・責任について

p 14 芦崎 達美 議員

- 1 八峰町中心経営体育成支援事業を継続せよ
- 2 定住促進対策について

一般質問とは?

一般質問は、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長などに求め、町政執行における所見や疑義について質問できるものです。

本町では、効率的な議会運営のため質問する議員があらかじめ議長に質問の趣旨などを知らせる「通告制」とし、議員はその内容に沿って質問します。

質問時間は1人につき質問答弁を含め55分以内で完了することとしていきます。再質問からは、一問一答方式が採用されており、時間内であれば何度でも再質問ができます。

監査委員による 令和2年度決算審査意見(抜粋)

財政健全化比率(※)は4項目においてすべて前年度より良好な数値となっており、書類も適正に作成されている。

しかし、高齢者コミュニティセンター(湯つこランド)については、歳入に対し歳出が1244万円を超える負担となっているほか、源泉の修繕や施設の老朽化による維持管理費も増加している。費用対効果を考慮し、実施事業を含め他の温浴施設で対応できないか検討をお願いしたい。

また、財政調整基金からの繰入金金が3年連続で5億円を超える取り崩しを計上している。財政調整基金残高は2年連続で減額となる他、実質単年度収支も2年連続の赤字となり、今後も続くことが危惧されることから、早期に収支均衡を図る必要がある。

(※) 財政健全化比率は地方公共団体の財政状況を客観的に表す4項目からなる財政指標。

決算に対する付帯意見

令和2年度会計の審査では、議員から様々な意見や要望が提案され、9月17日議会終了後、町長に対して付帯意見として提出しました。その内容を紹介します。
なお、この意見に対する町からの回答は次号以降の議会だよりに掲載します。

意見1

情報発信の 専任部署設置

ホームページのリニューアル等、情報発信の充実に向け専任部署の設置について検討すること。

意見2

診療所の 一本化

埴川分院での診療については医療機器等の問題もあることから、バス送迎を充実させるなどし、本院での一本化について検討すること。

意見3

ハタハタ館の 指定管理料について

前年の入湯税相当額としている指定管理料について、利用者の減少に伴い減額となっていることから、計画的な経営ができるよう定額制について検討すること。



水木決算特別委員長から町長へ



笠原 吉範 議員

移住者に継業促進を

町長 関係機関に提案し
意見交換

町長 商工会が昨年実施したアンケート結果では、「後継者がいない」と答えた事業所の割合は60%を占めており、後継

者確保は大きな問題である。継業をスムーズに行えるようにすることは大切だが、経営状況の開示や引き継ぎの間の生活費や住居の課題もあり、双方が納得した形での同意が基本。商工会・農協・漁協などに提案し意見交換してい



あきた白神体験センター

体験センター 「大人の学び舎」に

町長 県条例の見直し提案

笠原 少子化や学校の統廃合により、体験センターの運営は益々厳しくなると予想される。少子高齢化の今、子どもだけではなく大人の活用を促進する必要があると考える。

会を提供し、もって青少年の心身の健全な発達を図るとともに、県民の生涯学習の振興に資するために設置する」とある。海や山の活動を主体とした事業で、大人の利活用も推進していく。

教育長 秋田県自然体験センター条例の中で、「豊かな自然とのふれあいを通じて行う体験活動、その他の体験活動の機

町長 今年、今後5年間の指定管理に向けての協議がある。県条例の中で利用の仕方を狭めすぎていることに関しては不満を持っていて、協議のなかで提案し、交渉する。

教育長 秋田県自然体験センター条例の中で、「豊かな自然とのふれあいを通じて行う体験活動、その他の体験活動の機



奈良 聡子 議員

ドアツードア(※) 移動需要への対応は

町長 巡回バスに
目途ついた後検討

奈良 必要至急の用事やそれが夜間に発生した場合等、割安に利用でき、タクシーのようなドアツードアの移動手段を要望する声が少なくない。巡回バスでは対応できない需要に町はどう対応していくのか。

町長 新しい地域公共交通システムにそぐわない部分については今後検討したい。ドアツードアの移動手段があれば良いとは思いますが、検討すべき課題が多く簡単には判断できないのが現状だ。

奈良 この人達は今ますます高齢になっていく。検討だけは早く始めた方がいいのではないかと

町長 今回の事業量とマンパワーの中で並行して進めるのは大変だ。巡回バス事業に目途がついたら検討していきたい。

※【ドアツードア】自宅から目的の地まで



米代川河口から見た建設中の風車

洋上風力 自身の言葉で発信を

町長 「議会だより」で
考え方周知

奈良 八峰・能代市沖は洋上風力発電の促進区域に指定され、来年内に事業者が決まる見込みだが、未だにほとんどの住民は事業についてよ

く知らず、漠然とした不安を抱えたままだ。長期にわたり海を占有する洋上風力について、町長自身の言葉で説明し住民の意見や疑問に答えるべきではないか。

町長 制度上、事業者の責任において関係住民に計画の説明がなされるものと考えられる。風力発電については町長就任以来全ての議会で一般質問に取り上げられ、「議会だより」によって基本的な考え方は周知されている。

奈良 広島県安芸太田町の町長は4回にわたる意見交換会や意見募集等

行い、町民の声を聞いてきた。能代港湾でのモノパイル(基礎杭)打設工事の音は八峰町まで聞こえてきたが、町内で工事が始まれば陸上の音はもとより、水中で魚類に与える影響は相当なものになると思う。15MWクラスの高さの巨大な風車が陸から1〜4km以内で建つことになる。こういう事例は海外ではほとんどない。今一度町長自身の言葉で発信する義務があるのではないかと。

町長 もし私が町信するとすれば、議論を展開することになるがそれはやはりおかしい。議員の考えているものとはまるで違う内容になると思う。



皆川 鉄也 議員

皆川 新型コロナウイルス感染症は変異株が猛威を振るう中、八峰町のコロナ対策は手遅れなく徹底されていると思うが、一方では昨年度の集団健診はコロナ感染症の影響でやむなく中

止。本年度の計画も見直されファガスのみでの実施となり町民の健康管理が危惧される。国民健康保険事業にも大きな影響を与えることから町民の健康管理のあり方は。

町長 生活習慣病の啓発に重点

コロナ禍における町民の健康管理は

山本 文科省は、令和5年度以降、休日の部活動を地域の住民に任せて段階的に地域移行していくとの方向で、教員が部活動に関わらない改革をしようとしているが、教育長の考えは。

教育長 教員が部活動勤務で、心身の健康を害し教壇に立てなくなる人も出ている。教師のサービスに頼ることのない体制が必要と考える。能代山本地区の中学校においては、

部活動の地域移行への考えは 教育長 教員に頼らない 体制必要



山本 優人 議員

生徒数の減少により学校単独での部活動実施が困難となり、自治体を越えた合同チームによって大会参加となる状況になることから、「地域移行」への取り組みは、能代市山本郡が一体となって協議・検討している。

山本 子どもたちのため、土日も部活動指導をする熱血先生がいなくなる「働き方改革」は、私は「働かない改革」と思う。

また、合同先の練習場が遠くなれば、経済的に困窮している家庭の子は、部活にも行けない。しかも遠征費も払えないなど格差が生まれる。参加する子どもに対しての経済的な支援の考えは。

町長 格差の部分に関しては、必要があれば助成も考える。

押印廃止の状況は

町長 原則として 廃止の予定

山本 国は、紙文書での提出や押印などの行政手続きにおいて、押印廃止等の法令改正を伴う規

制改革実施計画を閣議決定した。押印を見直したその先にあるオンライン化の重要性まで思いをめぐらせると、町も変わる必要がある。当町の行政手続きにおける「押印廃止」についての考えと町民が行う手続きに対し押印が必要な書類数は。

町長 国の「地方公共団体に於ける押印見直しマニュアル」に基づき、法令等で押印が求められている趣旨に合理的理由があるもの以外は、原則として押印を廃止する方針であり、今後も見直しを進める。町の行政手続きにおける押印廃止の取組状況は、町、各行政委員会及び町議会が制定している条例等は708件あり、うち押印廃止の対象となる条例等は138件ある。



八峰中学校の部活風景

町長 受診率は元年度に比べ2割程度減少しているが、昨年度中止による個別医療機関での受診状況から見ると、ほぼ例年並みの数字が確保されている。今後は受診者の負担軽減を図るワンコイン受診や無料クーポン券の発行等のほか、コールリコール事業を実施する。

医療費の影響対策は糖尿病の重症化予防事業に重点を置き、保健師の専門的立場からの生活習慣病の啓発活動を通して、心と身体の健康づくりに取り組む。



本年度の地元米

コメ価格維持対策は

町長 生産者の声にこたえ 対策検討

皆川 八峰町農業再生協議会において示された「水田収益力強化ビジョン

案は、主食米の余剰から高収益作物へ誘導する計画だ。主食米の余剰在庫は高い水準にあ

ることから今後の大きな課題である。国、県では飼料用米等の生産者に対し収入補填としての対策が講じられている。本町農業は稲作の占める割合は高く、コメ価格維持対策としてこれに追随した強力な対策が必要と思うが如何か。

町長 人口減少や食生活の変化など消費者のコメ離れに歯止めがかからず、更には新型コロナウイルス感染症による外食産業の低迷などで在庫量が膨らみ、国が示す適正水準を超過すると予想する。非主食用米には国県が手厚い充実した対策を講じているので、国の産地交付金を活用し大豆、そば、ネギ等への誘導を図る。米価下落に備え収入保険やナラシ対策の加入を働きかけ、生産者の声に応え来年の再生産に影響を及ぼさないよう対策を検討する。



腰山 良悦 議員



枝に覆われた墓石

町の墓地条例は、使用者（墓石所有者）に對しての規約であるが、土地は登記上の所有者である町に管理する義務、倒木や土砂崩れによる墓石の被害を防ぐ責任があると思う。当局の考え、対応策は、



危険な傾斜地



見上 政子 議員

マであると考え。巡回バスの料金は、本格運行に移行する際あまり利用者の負担にならない範囲で、有料化にすることも含めて検討したい。

※「循環バス」始発と終着が同じ場所、地域の拠点を周る運行のバス

子ども感染どう対処

教育長 ガイドラインに従い実施

自主判断によるPCR検査費用は

町長 財源確保に向け検討

見上 妊婦のワクチン接種は優先的に受けられるのか。また、保育園・学校の保護者が県外と往來した場合、家族全員のPCR検査費用を町で負担する考えはないか。

町長 母子手帳保持者と配偶者に都合を確認し優先予約・接種を実施した。また、PCR検査費用の補助については、財源確保に向けた情報収集に努めながら、今後検討する。



新型コロナウイルスワクチン接種

見上 保育現場や教職員の接種、抗原検査キットの活用方法と、子どもが感染した場合の対処は。教育長 学校や子ども園の教職員は9月中にほぼ接種を終える見込み。抗原検査キットは、子ども園の職員用として、県から1施設当たり1箱（10回分）配布され、勤務中に発熱等の症状がある場合に健康チェックシートで確認し、園長の指示

で検査を実施する。学校でガイドラインを作成しており、陽性になった児童生徒は出席停止、保健所の意見を聞いた上で協議し学年閉鎖などを判断する。また、保護者に対して緊急事態宣言区域等と往來した児童生徒について、帰県後5日程度の自宅待機、可能な限り抗原検査等を行うよう協力依頼している。 ※ その他、町民税の減免申請について質問がありました。

岩館墓地の管理義務・責任は

町長 義務を認識、早期に対応

見上 岩館第1自治会内にある墓地内の大木が根元から折れ、そばの墓石が2基倒される被害があった。以前にも枝折れなどによる被害があり、自治会や個人で対応している。立木の近くにある墓石の所有者は、いつ同じ様な被害にあうか心配し、剪定・伐採を町に望んでいる。

町長 倒木があった墓地は自治会管理だが、用地は町有地で、町に土地や立木の管理義務がある

と認識している。墓地内には、大きなケヤキの木があり、太い枝が墓地を覆うように伸びており、早期に剪定してほしいとの要望を受けた。施工方法、時期を十分に検討しながら実施する。町としては、墓地内の倒木や土砂崩れによる被害を防ぐため、自治会と連携してこれまで以上に

情報共有と早期の対応に努めていく。

循環バス運行の考えは

町長 多くの課題があり難しい

見上 高齢者・障がい者が、町内の通院・買い物などで利用する循環バス（※）を、巡回バスの空き時間を利用して運行する考えはないか。また、巡回バスの無料を本格運行後も続けられないか。

町長 巡回バスの車両は借り上げ車両で、運転業務についてもバス事業者に委託しており空き時間は生じない。また、ルートの設定、アクセス、回数や時間帯、必要な事業費など多くの課題があり、循環バス運行は大変難しいテーマ

過去の議会だよりも 閲覧できます！

平成23年分からの過去の議会だよりを、八峰町役場ホームページで閲覧できます。

下のQRコードをスマートフォンやタブレットのカメラで読み取ることでもアクセスできます。

八峰町議会だより「はっぼう」



今月の表紙 みんなで梨狩り！



秋晴れの中、八森子ども園の園児達が梨狩りをしました。自分でとった梨を手に、みんな笑顔になっていました。

総務民生常任委員が 岩館地区を現地確認

7月30日、総務民生常任委員会で、施設の老朽化に伴い建設予定の「岩館地区防災コミュニティセンター」（以下、防災コミセン）の現地確認を行いました。防災コミセンについては、議会全員協議会において、施設の規模・体育館の除却の有無等について協議案件となっており、この日は建設予定地の旧岩館子ども園跡地や岩館体育館の他、岩館地区の避難



旧岩館小学校体育館

所となつている旧岩館小学校体育館について、防災担当課である総務課から説明を受けながら視察しました。

7月20日臨時会
八峰町介護保険条例の一部を改正する条例制定について可決
(内容) 令和2年度末までとなつていた新型コロナウイルス感染症の影響による介護保険料の減免の特例期間を延長するもの。
12月議会定例会の日程
会期は令和3年12月15日(水)～12月17日(金)まで、開会は10時からの

予定です。終了時間は議案数、一般質問者数、進行等によるため未定です。
議会では町民の生活に直結した重要な問題が審議されております。どなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。また、団体での傍聴を希望する場合は議会事務局へご連絡ください。
※マスク等、感染症対策にご協力ください

農家支援事業継続を

町長 事業の在り方を検討

芦崎

経営面積の拡大による農業機械の大型化や高齢化により、農家は厳しい状況にある。町の「中心経営体育成支援事業」継続の考えは。

町長

「八峰町中心経営体育成支援事業」は、非担

るため、規模拡大や複合経営の取り組みに向けた機械・施設の導入計画の支援を目的とする。担い手であっても国や県の補助事業の活用が困難な経営体についても支援するため、平成31年度から実施された事業であり、担い手確保に一定の成果が出ている。

町としては、農業機械等の導入支援について、規模拡大面積や取り組み品目等農家の経営方針を確認しながら、国や県の補助事業に誘導していくとともに、本事業については、「事業予算の3年見直し」のルールに基づき、新年度予算の主要事業ヒアリングを行って判断する。



芦崎 達美 議員



夕風第2団地の分譲

宅地分譲の考えは

町長 必要に応じ判断

芦崎

町の人口は減少傾向にあり、このままで推移すれば町の存続さえ危ぶまれる状況である。一方、大都市圏を中心に居住環境の悪化など

から、地方での生活を希望する人が増加傾向にあると報道されている。小坂町では、1坪あたり1万円で6区画分譲したところ、首都圏在住者を中心に数百件の問い合わせがあり、完売した。

町が宅地造成をし、分譲する考えは。

町長

町では現在、夕風第2団地北側の遊休地6区画を未造成のまま分譲する事業のほか、旧八森庁舎跡地を宅地造成して分譲する「中浜地区中心部整備事業」を計画している。

新たな宅地分譲については、住宅用地へのニーズを適切に把握し必要に応じ対応する。



大型化する農業機械

岩館地区防災コミュニティセンター 第3回法定協議会の概要 地域公共交通（巡回バス）について

8月30日（月）に開催され、1件の協議と3件の報告を受けました。今回は3件をピックアップして掲載します。

【協議】岩館地区 防災コミュニティセンター

町からの説明

（基本方針等）

岩館生活改善センターと第15分団器具置き場の老朽化に伴い、自治会及び消防団から立て替えの要望を受けて計画。防災機関である消防団施設とコミュニティセンターを複合化し、防災備蓄備品や大容量蓄電池を装備し、災害・停電への対応可能な建物とする。

建物規模は、自治会による「指定管理」を前提とし、適切な規模で計画する。

（方針の変更）

コロナ禍においては、災害時の避難所において、「3密」回避のため避難者1人あたりの面積を広く設定する。また分散避難を行う必要があり、これまでの計画を見直す必要が生じた。

しかし、避難所を新たに整備することは負担が大きく、人口減少が今後も進むことを考慮すると、これまで除却（解体）予定としていた施設のうち、避難所として適当な立地の公共施設を改修し利用することで、当面の避難面積を補っていきたい。

議員から町へ

し説明したい。防災コミュニティセンターについては令和4年度、岩館体育館の改修については令和5年度を予定している。

質疑 防災コミュニティセンターに防災備蓄倉庫と大容量蓄電池を整備するということだが、他の地区でも要望が出るのでは。

答 今後の施設整備は、当該自治会と相談しながら進めたい。予算との兼ね合いもあるが、災害対策の充実は必要と考えている。

意見 改修工事で何年もつのか。体験センターも県と防災協定を結ぶことで、避難所として使用できないか。

答 耐震補強で20〜30年は使用可能。体験センターの使用については

は県に確認する。

意見 総務民生常任委員会で岩館体育館と旧岩館小学校体育館の現地確認をした。耐震補強にはかなりの予算が必要と想定されるので、

改修費用の見積もりをもらって再協議しては

答 9月補正予算として提出するので、その後全員協議会で説明したい。



改修が検討される岩館体育館

【報告】再エネ海域利用法 に基づく第3回法定協議会 の概要について

町からの説明

令和3年6月29日、八峰町及び能代市沖の区域について、海洋再生可能エネルギー発電設備整備促進地域の指定、及び発電事業の実施に関する必要な協議会を行った。（参加者：国、県、能代市、八峰町、漁協等の代表者及び専門家）

協議会意見としては、洋上風力発電による海洋再生可能エネルギー発電事業の実施により、漁業及び船舶航行等に支障を及ぼさないことが見込まれるものとして、洋上風力発電の促進区域として指定することに異存はない。ただし、指定にあたって

は漁業影響調査など、公募から発電事業終了までの全工程において留意することを求める。

議員から町へ

質疑 資料中、漁業への影響に関する資料について「現時点で回答できるものを持ち合わせていない」とある。発電規模も16万kwから36万kwと倍以上となっている。

「決定後にしっかりと議論を」は投げやりのように感じる。

答 法定協議会は発電事業へ応募する業者が守るべき指針を協議している。業者もこの指針を重く受け止めてい

【報告】地域公共交通 （巡回バス）について

町からの説明

ると判断している。

質疑 町の漁業に影響がないのか、漁業者が納得できるか。

答 法定協議会には漁業者の代表も4名出席している。

交通をつくる必要がある。

質疑 秋北バスの能代から岩館方面への最終便が遅いのではないかと、すでに購入済みのバス回数券等の未使用分の扱いは。

答 秋北バスは八峰町以外の路線運航との関係もあり、時間変更の対応は難しい。

回数券等の未使用分については、町が精算することを予定している。



答 料金については試行期間中は無料とするが、ワンコインを含め平等性を保つことが必要。運行についてはこれで完成ということではなく、改善点を探りながら進めていく。

質疑 今までより使い勝手がよくなるのが最低限のラインであり、今後も課題があれば改善してほしい。